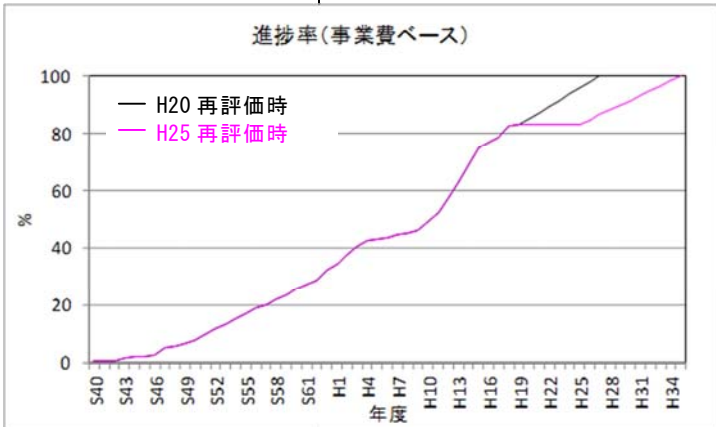


平成25年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成20年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
	再評価時点 H20	牛津江川 総合流域防災事業 事業主体：県 事業地：小城市	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 140m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=61億円 工期：S40~H30 改修延長：L=5,700m 計画流量：140m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、 橋梁13基、堰8基	砂田橋下流部については完成しており、上流区間の約600mを残すのみとなっている。 上流部については用地買収の促進を図っている。 国道34号江津ヶ里橋他10橋完成 (H19末進捗率 83%) (年平均進捗率 1.9%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 430戸 農地浸水面積 550ha (地域の状況) 上流の小城市内では、宅地化が進んでいる。地元及び牛津江川改修促進期成会の整備要望が強い。	現在(B/C) 5.9		再評価実施後5年経過	継続
	現時点 H25	牛津江川 河川整備交付金事業(社会資本整備総合交付金：総合流域防災事業)		前回評価時より工期を延長した。 全体事業費：C=61億円 工期：S40~H35 改修延長：L=5,700m 計画流量：140m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管17基、 橋梁13基、堰8基	砂田橋下流部については完成しており、上流区間の約600mを残すのみとなっている。 上流部については用地買収の促進を図っている。 国道34号江津ヶ里橋他10橋完成 (H24末進捗率 83%) (年平均進捗率 1.7%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 同上	最新のデフレーター及び最新のメッシュデータに基づき費用対効果(B/C)を算定した。 ・総便益(一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=73,687百万円 ・総費用額 C=20,842百万円 ・現在(B/C) 3.5	<ul style="list-style-type: none"> 再生材の積極的利用 建設副産物の有効利用 	再評価実施後5年経過	平成2年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため		・H21出水にて破堤した他河川への集中投資に伴い、事業進捗を抑えていたことによる工期延長。			前回再評価時と比較し、家屋や事業所等の資産数量の減によりBが減少し、費用対効果の減となった。			